
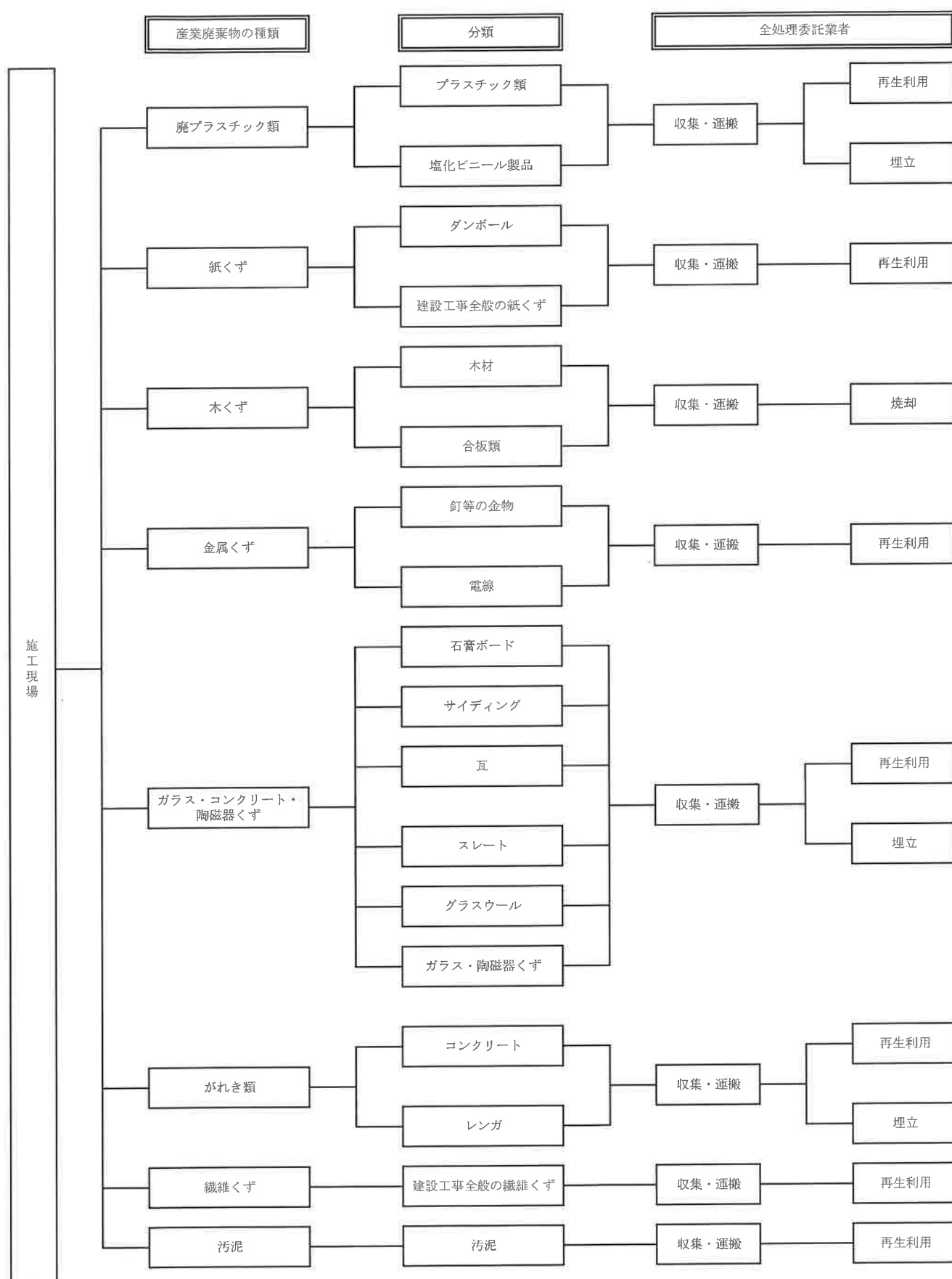


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 5年 6月 21日			
茨城県知事 殿			
		提出者 住 所 茨城県水戸市けやき台3丁目56番地 氏 名 茨城グランディハウス株式会社 代表取締役社長 林 和久 電話番号 029-304-6624 (本社建築部)	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		茨城グランディハウス株式会社 県南支店	
事業場の所在地		牛久市ひたち野西2丁目22番地4	
事業の種類		総合工事業	
産業廃棄物処理計画における計画期間		令和4年4月1日～令和5年3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排出量		1484.003 t	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量 811.150 t	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量 672.853 t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量 t	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 t	
※事務処理欄			



産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

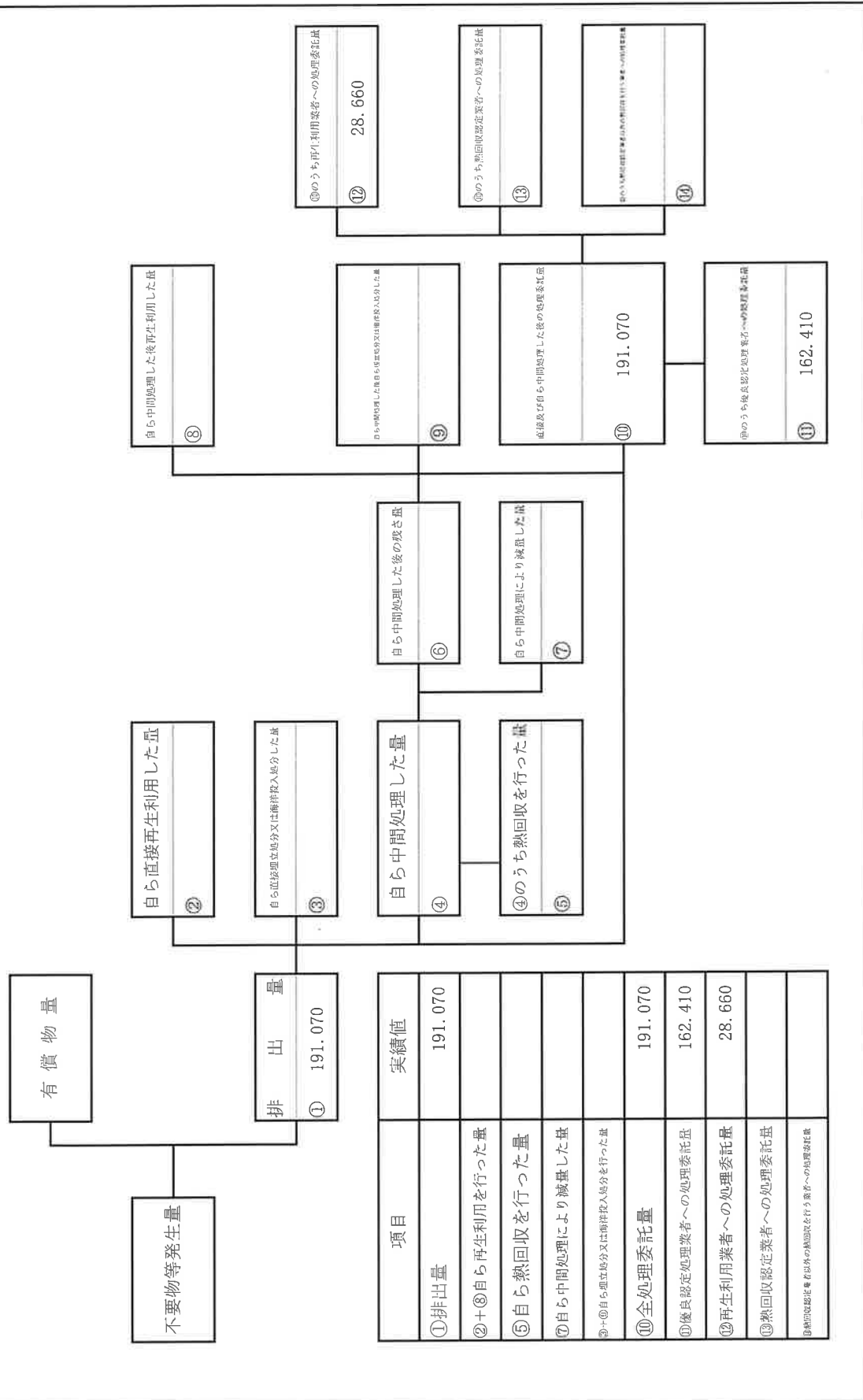
産業廃棄物の種類	種別	分別方法
廃プラスチック類	プラスチック類	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、種類ごとに袋詰しコンテナにて保管
	塩化ビニール製品	
紙くず	ダンボール	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、袋詰しコンテナにて保管
	建設工事全般の紙くず	
木くず	木材	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、裁断したうえで種類ごとに袋詰しコンテナにて保管
	合板類	
金属くず	釘等の金物	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、種類ごとに袋詰し入れコンテナにて保管
	電線	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、専用コンテナにて保管
	サイディング	種類ごとにまとめたうえで、コンテナ内にて保管
	瓦	
	スレート	
	グラスウール	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、種類ごとに袋詰し入れコンテナにて保管
	ガラス・陶磁器くず	
がれき類	コンクリート	袋詰しコンテナ内にて保管
	レンガ	
繊維くず	建設工事全般の繊維くず	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、種類ごとに袋詰し入れコンテナにて保管
汚泥	汚泥	袋詰しコンテナ内にて保管
水銀使用製品産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	破損ないようにクッション材で保護し、他の廃棄物とは別に保管

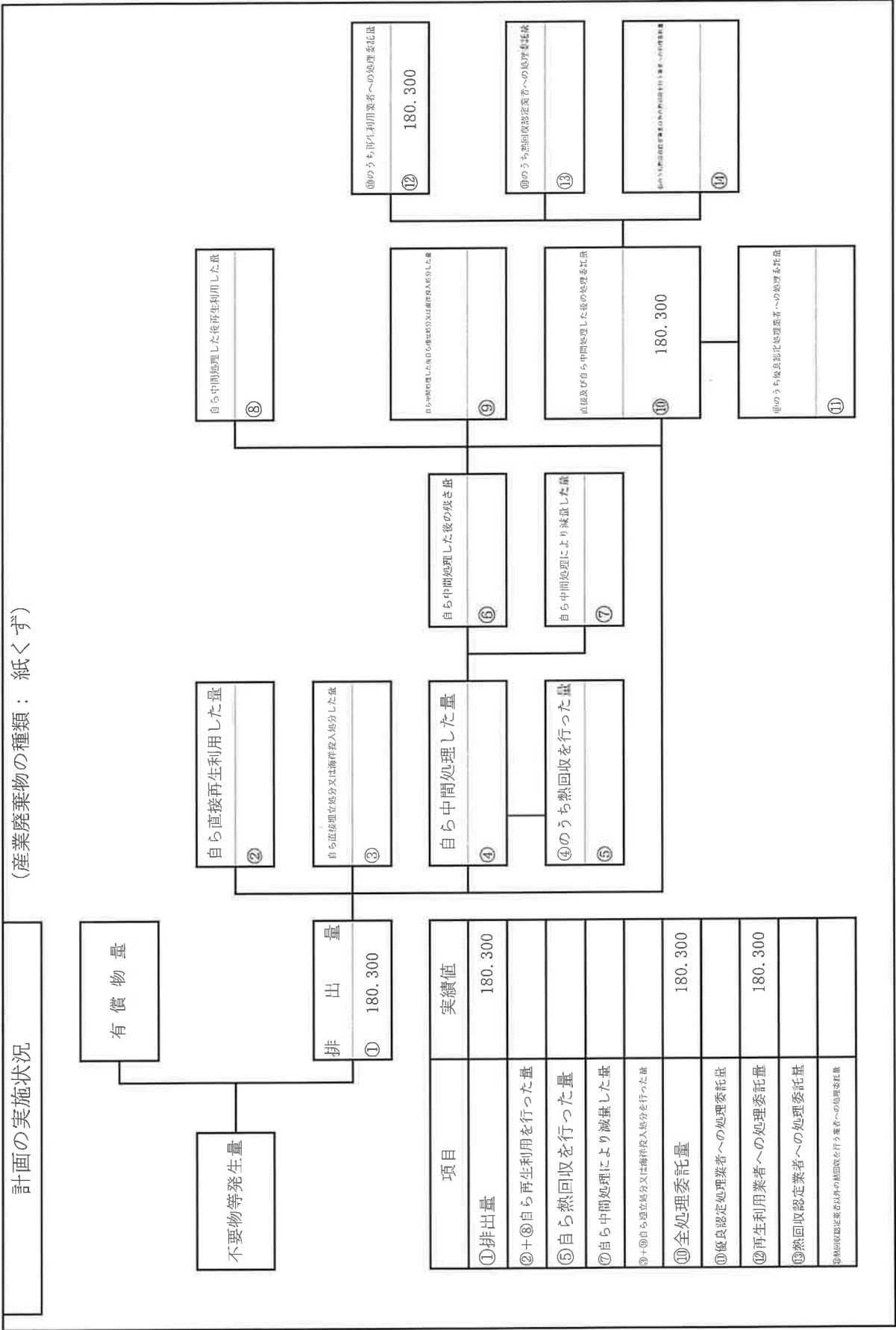
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ☐ 再生・リサイクルにあたり、必要に応じて更なる分別の細分化
- ☐ 保管状況の向上を図り再生可能資源として保持
- ☐ 適正な分別が行われているか定期的な巡回によるチェック
- ☐ 協力業者への分別に対する意識向上のための勉強会を実施

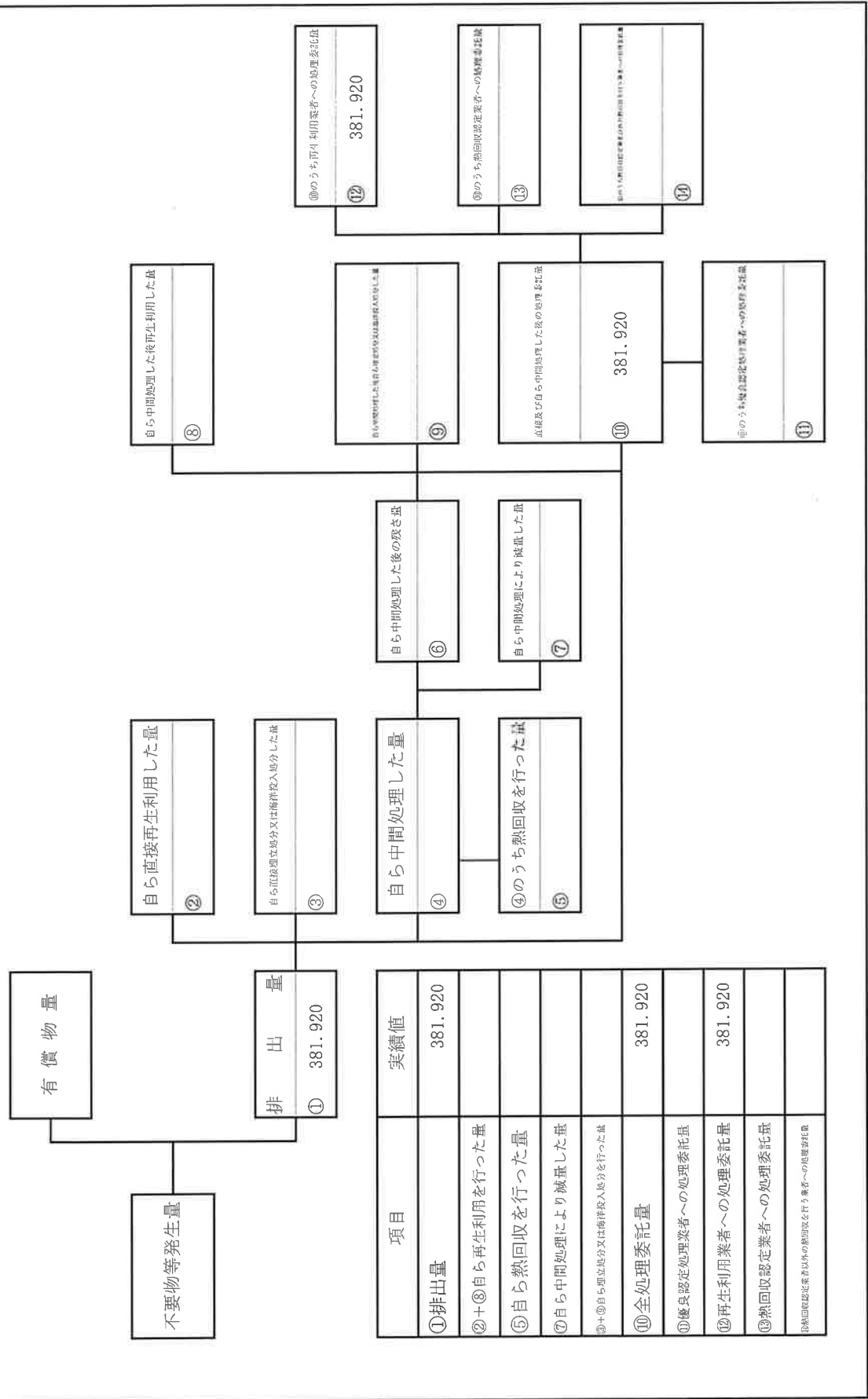
計画の実施状況

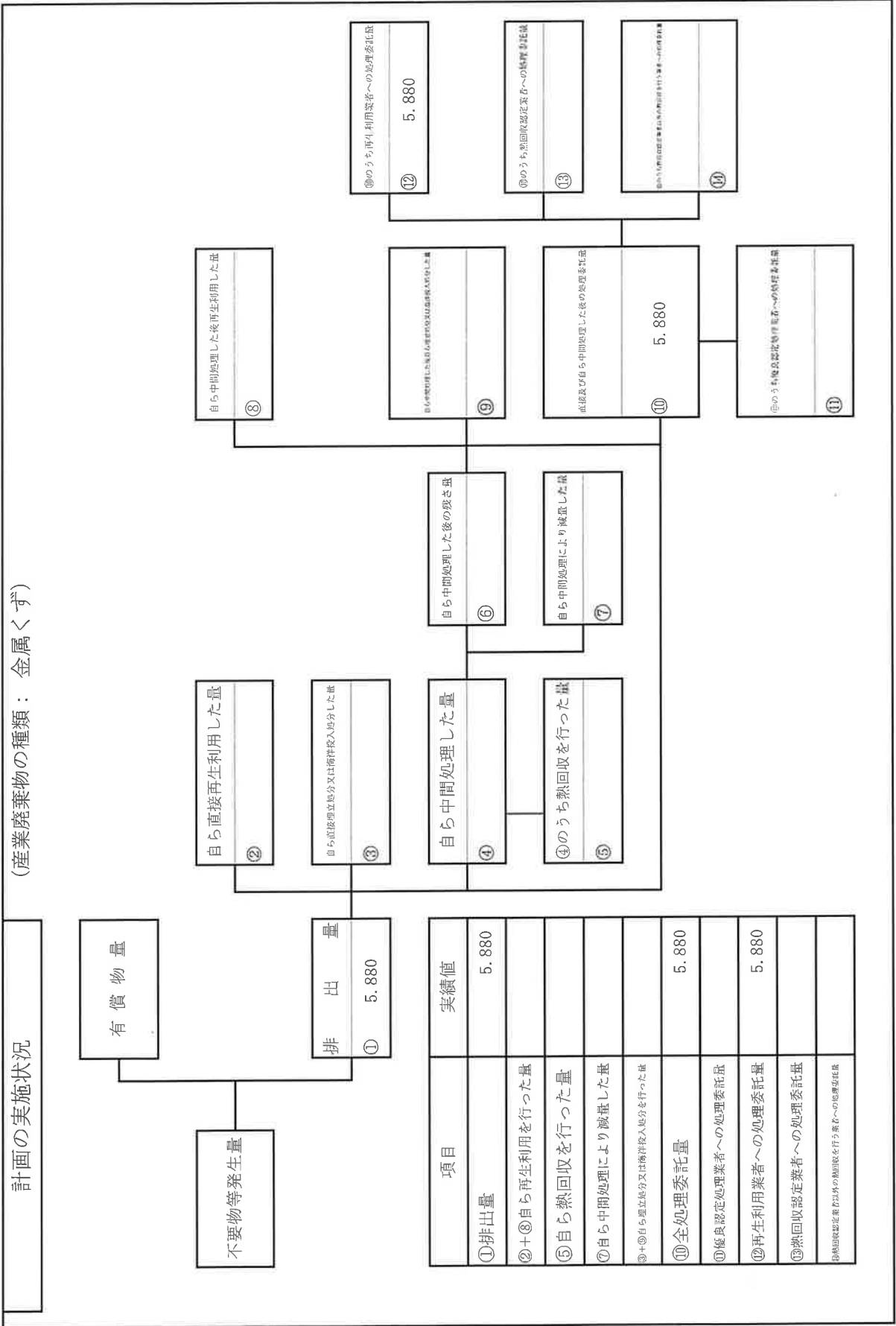
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)





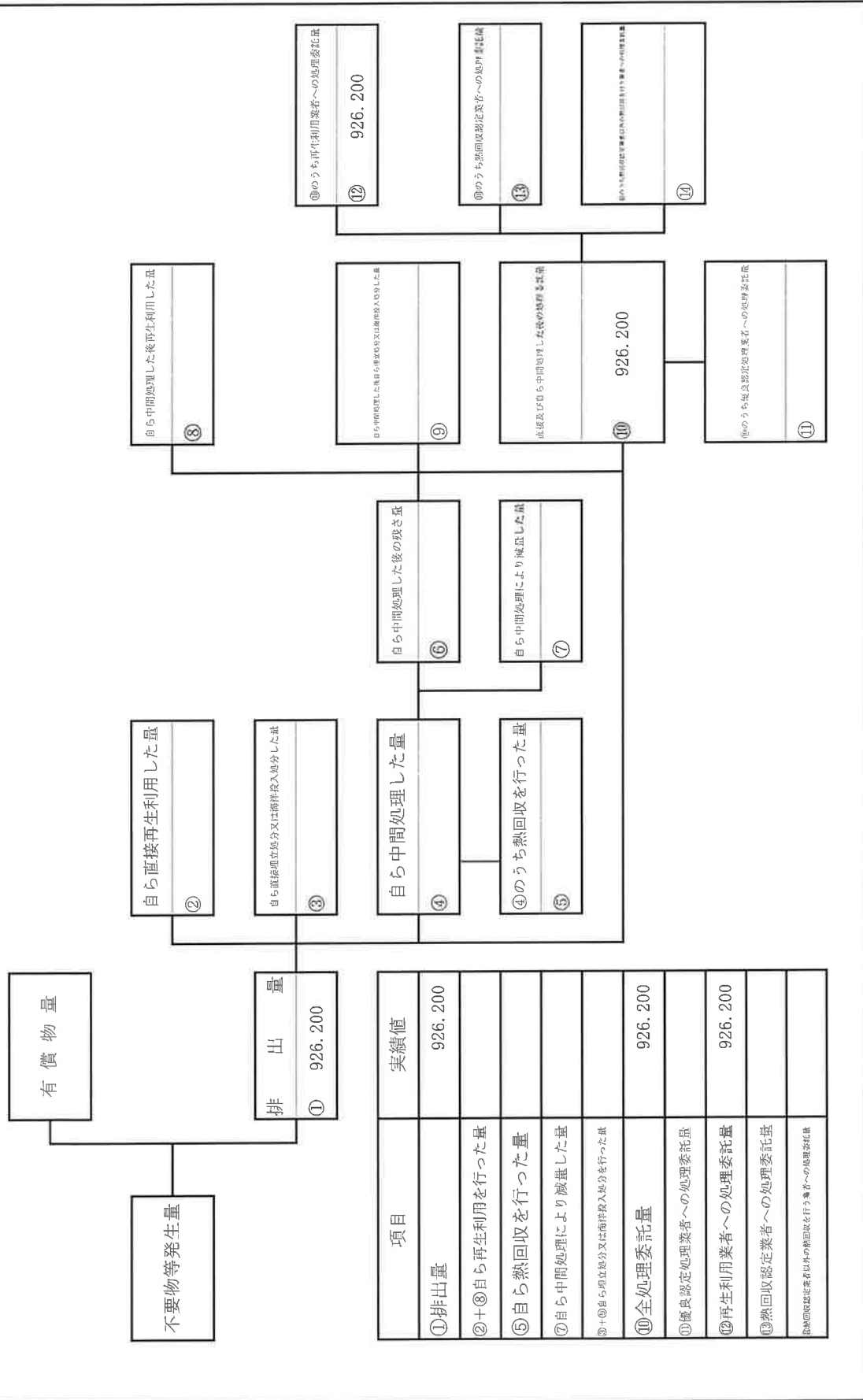
計画の実施状況
(産業廃棄物の種類：木くず)





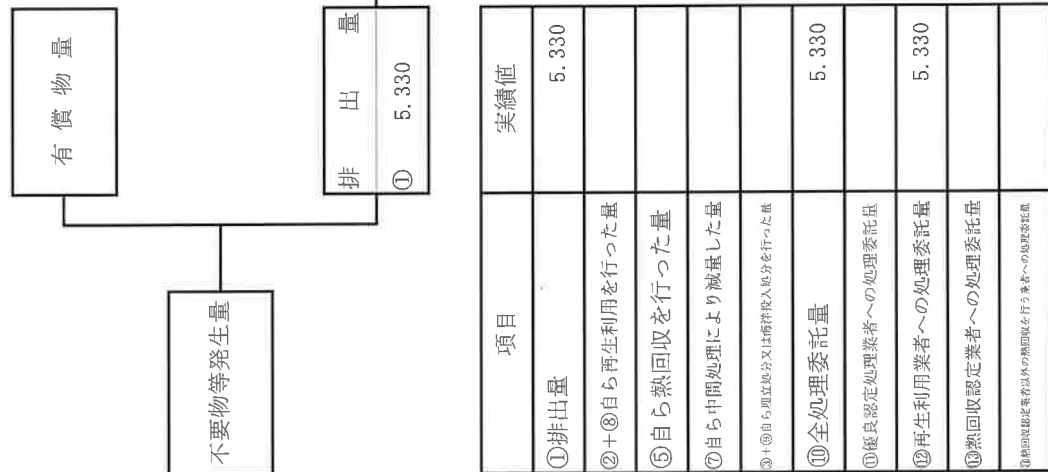
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス・コンクリート・陶器くず)



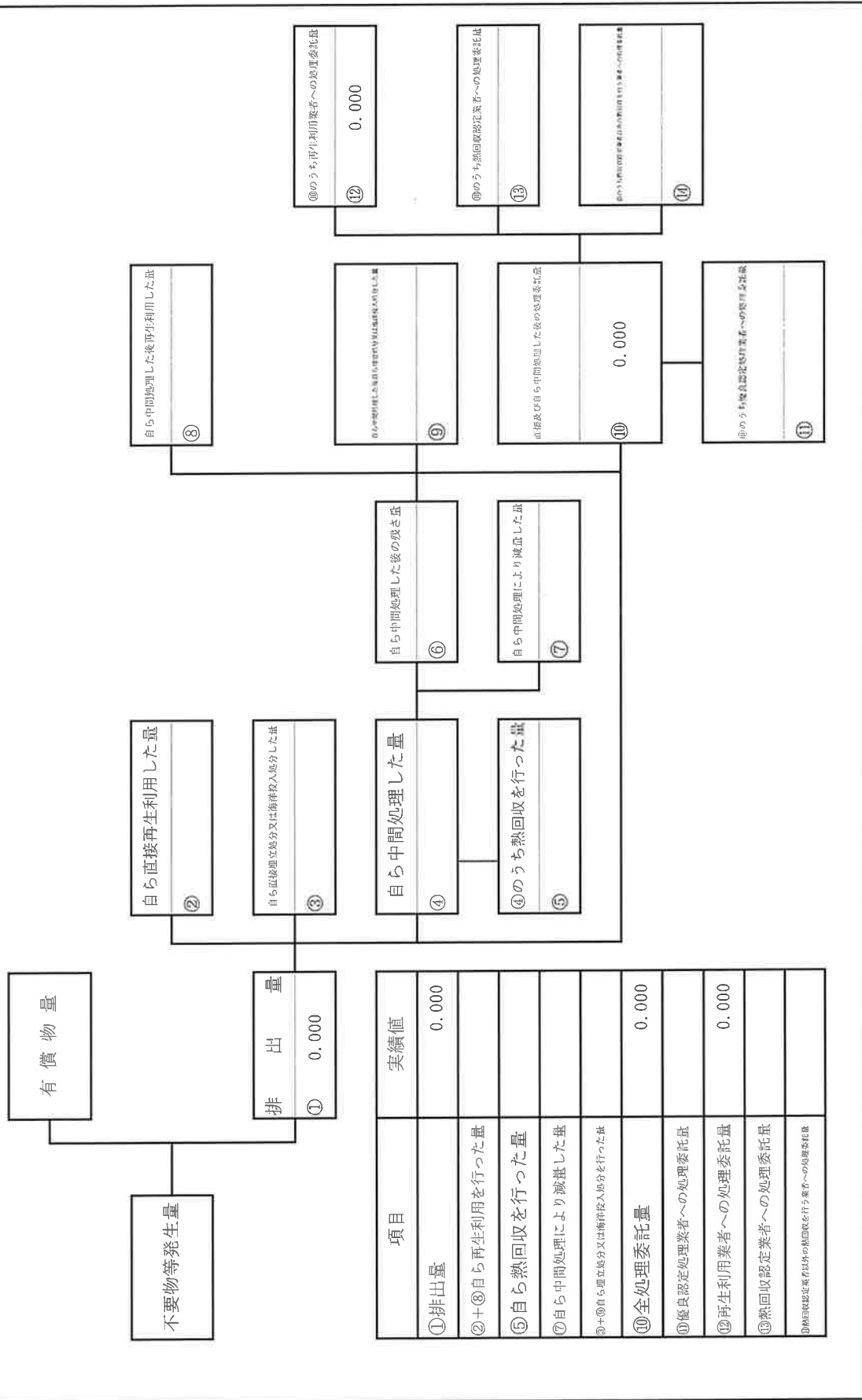
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：繊維くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再生利用量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分量	④ 自ら中間処理量	⑤ 自ら中間処理後の残量	⑥ 自ら中間処理による減量	⑦ 自ら中間処理後再生利用量	⑧ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量	⑨ 優良認定処理業者への処理委託量	⑩ 再生利用業者へ処理委託量	⑪ 熱回収認定業者への処理委託量	⑫ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量
廃プラスチック類	191.070							191.070	162.410	28.660		
紙くず	180.300							180.300		180.300		
木くず	381.920							381.920		381.920		
金属くず	5.880							5.880		5.880		
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	926.200							926.200		926.200		
繊維くず	0.000							0.000		0.000		
がれき類	5.330							5.330		5.330		